

「元気な日本復活特別枠」要望に関する
パブリックコメント記載要領

国立大学法人名古屋工業大学

官邸の「元気な日本復活特別枠」要望に関するパブリックコメントの手順

▶ 「官邸の「元気な日本復活特別枠」要望に関するパブリックコメント」のページにアクセス <http://seisakucontest.kantei.go.jp/>



▶ 意見募集対象事業



▶ 府省別 「**文部科学省**」をクリック

手順1



▶ 「**要望事業一覧を見る**」をクリック

手順2

事業番号1901、1904、1905、1906が対象となります。



▶ 該当の事業名をクリック

手順3



▶ 「**この要望について意見を提出する**」をクリック

手順4



ユーザー登録が済んでいない場合は
登録手続きが必要です

▶ メールアドレス、パスワードを入力してログイン

手順5

ユーザー登録
の注意点

▶ 意見の提出

手順6

手順7

手順8

終了



「元気な日本復活特別枠」要望に関する
パブリックコメント
PUBLIC COMMENT
～政策コンテスト～
予算編成にあなたの声を!
応募締切 **2010年10月19日(火) 17:00まで(必着)**

意見募集対象事業

「元気な日本復活特別枠」(特別枠)要望の合計189事業

分野別

- ・ [新成長戦略 \(デフレ脱却・経済成長\)](#)(103)
- ・ [新成長戦略\(雇用拡大\)](#)(7)
- ・ [マニフェスト掲載施策](#)(15)
- ・ [国民生活の安定・安全](#)(55)
- ・ [人材育成・新しい公共](#)(9)

府省別

- ・ [内閣官房](#)(4)
- ・ [内閣府](#)(15)
- ・ [警察庁](#)(2)
- ・ [金融庁](#)(1)
- ・ [消費者庁](#)(1)
- ・ [総務省](#)(34)
- ・ [法務省](#)(3)
- ・ [外務省](#)(5)
- ・ [財務省](#)(3)
- ・ **[文部科学省](#)(10)**
- ・ [厚生労働省](#)(15)
- ・ [農林水産省](#)(4)
- ・ [経済産業省](#)(30)
- ・ [国土交通省](#)(46)
- ・ [環境省](#)(8)
- ・ [防衛省](#)(8)

※ 分野別、府省別に分けて掲載しておりますので、それぞれのリンクからご覧下さい。なお、例えば「内閣官房」の「国

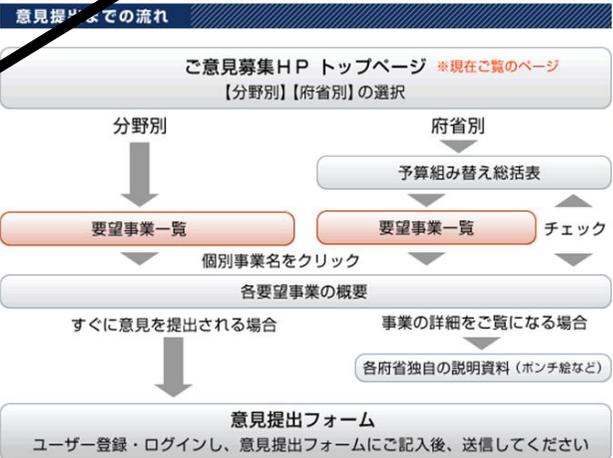
お知らせ

2010/09/28 各府省独自の説明資料について
各府省独自の説明資料の一部に、現在、各府省で掲載作業中のところがございます。作業終了しただいご覧いただけるようになりますので、しばらくの間、ご容赦をお願い申し上げます。

2010/09/28 本日12時にパブリックコメントが開始されました
本日12時に「元気な日本復活特別枠」要望に関するパブリックコメントが開始されました。皆様のご意見をお寄せください。

趣旨

予算編成過程の透明化・見える化を進め、国民の声を予算編成に反映させる試みとして、政府では、「元気な日本復活特別枠」(特別枠)に関する要望事業について、パブリックコメントを実施し、各事業に対する国民の皆様からの意見を以下のとおり広く募集することいたしました。皆様のご意見をお寄せ下さい。



● 「文部科学省」を選択し、クリックしてください。手順2の画面に進みます。

平成23年度概算要求（一般会計）における予算の組替えについて

●こちらをクリックすると、手順3の画面に進みます。



総予算組

(単位:百万円)

| | に係る22' 当初予算額 | に係る23' 概算要求額 | ③22' 当初からの削減額 (①-②) | (参考) 要望額 (元気な日本復活特別枠「要望」) |
|---------|--------------|--------------|------------------------|------------------------------|
| 文部科学省所管 | 5,489,850 | 4,861,607 | 628,044 | 862,806 |

○要求に係る主な減要因

(単位:百万円)

| 番号 | 事業名 | 22' 当初予算額 | 23' 概算要求額 | 比較増△減額 | 備考 |
|----|------------|-----------|-----------|-----------|---|
| 1 | 義務教育費国庫負担金 | 1,593,767 | 1,377,993 | △ 215,774 | ・児童生徒数の減少に伴う教職員定数の減 ・小学校1・2年生の40人学級の見直し など 【関連する要望項目 (3)】 |
| 2 | 奨学金事業 | 130,899 | 54,293 | △ 76,606 | ・無利子奨学金の在り方の再構築 ・利子補給金の減(借入利息等の減) など 【関連する要望項目 (4)】 |
| 3 | 公立学校施設整備費 | 103,154 | 34,481 | △ 68,673 | 安全・安心な学校づくり交付金の見直し 【関連する要望項目 (1)】 |
| 4 | 国立大学法人運営費 | 1,158,515 | 1,102,517 | △ 55,998 | ・プロジェクト経費等の見直し ・大学改革促進係数(△1%) など |

要望事業一覧（府省別）

文部科学省
リストの事業名をクリックすると、当該事業の説明画面が開きます。

| 分野別 | 事業番号 | 事業名 | 要望額(百万円) | 事業主体 | 事業内容 | 事業目的・効果 |
|-------------------|------|--|----------|----------------|--|---|
| 国民生活の安定・安全 | 1901 | 安全で質の高い学校施設の整備 | 39,813 | 地方公共団体、国立大学 | 学校施設の耐震化や日常的な安全性の確保のための老朽化対策等、児童生徒等の生命。(続き) | 児童生徒等が一日の大半を過ごし、非常災害時には地域住民の応急避難場所ともなる...(続き) |
| 人材育成・新しい公共 | 1902 | 未来を拓く学び・学校創造戦略 | 2,000 | 地方公共団体、民間企業等 | 情報化・技術の持つ可能性を最大限に活用して新しい学びの姿を創造するとともに...(続き) | 学びのイノベーション事業は、情報通信技術の特性を生かし、子どもたちの能力や...(続き) |
| マニフェスト掲載施策 | 1903 | 小学校1・2年生における3.5人学級の実現 | 224,702 | 地方公共団体 | 40人学級を30年ふりに見直し、少人数学級を学年進行で実現することを柱とする新...(続き) | 国際的に見て、我が国の教育環境は低水準であり、学校現場が抱える課題に適...(続き) |
| | 1904 | 学習者の視点に立った総合的な学び支援及び「新しい公共」の担い手育成プログラム | 33,129 | 地方公共団体、日本大学 | すべての意欲と能力のある学生等が経済的理由により修学機会を奪われる...(続き) | (高校)・低所得世帯の生徒にとって負担が大きい授業料以外の学習機会確保...(続き) |
| 人材育成・新しい公共 | 1905 | 「強い人材」育成のための大学の機能強化イニシアティブ | 19,971 | 国立大学 | 大学の教育研究基盤を強化(国立大学法人運営費交付金、私学助成の拡充)し、世界...(続き) | 大学の教育研究基盤を強化し、新たな成長につながる学術研究や人材養成を実施し...(続き) |
| | 1906 | 成長を牽引する若手研究人材の総合育成・支援イニシアティブ | 48,400 | 国公私立大学、独立行政法人等 | 成長の原動力である若手研究人材が諸外国に比べて活かされていない現状(①量の先...(続き) | 我が国が、長い衰退のトンネルを抜け出し、再びかつての輝きを取り戻すため、成長...(続き) |
| 新成長戦略(デフレ脱却・経済成長) | 1907 | 元気な日本復活！2大イノベーション | 78,800 | 国公私立大学、独立行政法人等 | 大学や研究機関の総力を結集するとともに、研究基盤を革新し、「新成長戦略」で強...(続き) | ライフ・イノベーションの実現により、再生医療の実現やがん、うつ病・認知症、花...(続き) |
| | 1908 | 我が国の強み・特色を活かした日本強「人材・技術」の世界展開 | 44,790 | 独立行政法人 | 宇宙などの先端科学技術分野において、小惑星探査機「はやぶさ」後継機といった最...(続き) | 他省庁や産業界とも連携し、「人材と技術」をパッケージとして海外市場に提供する...(続き) |

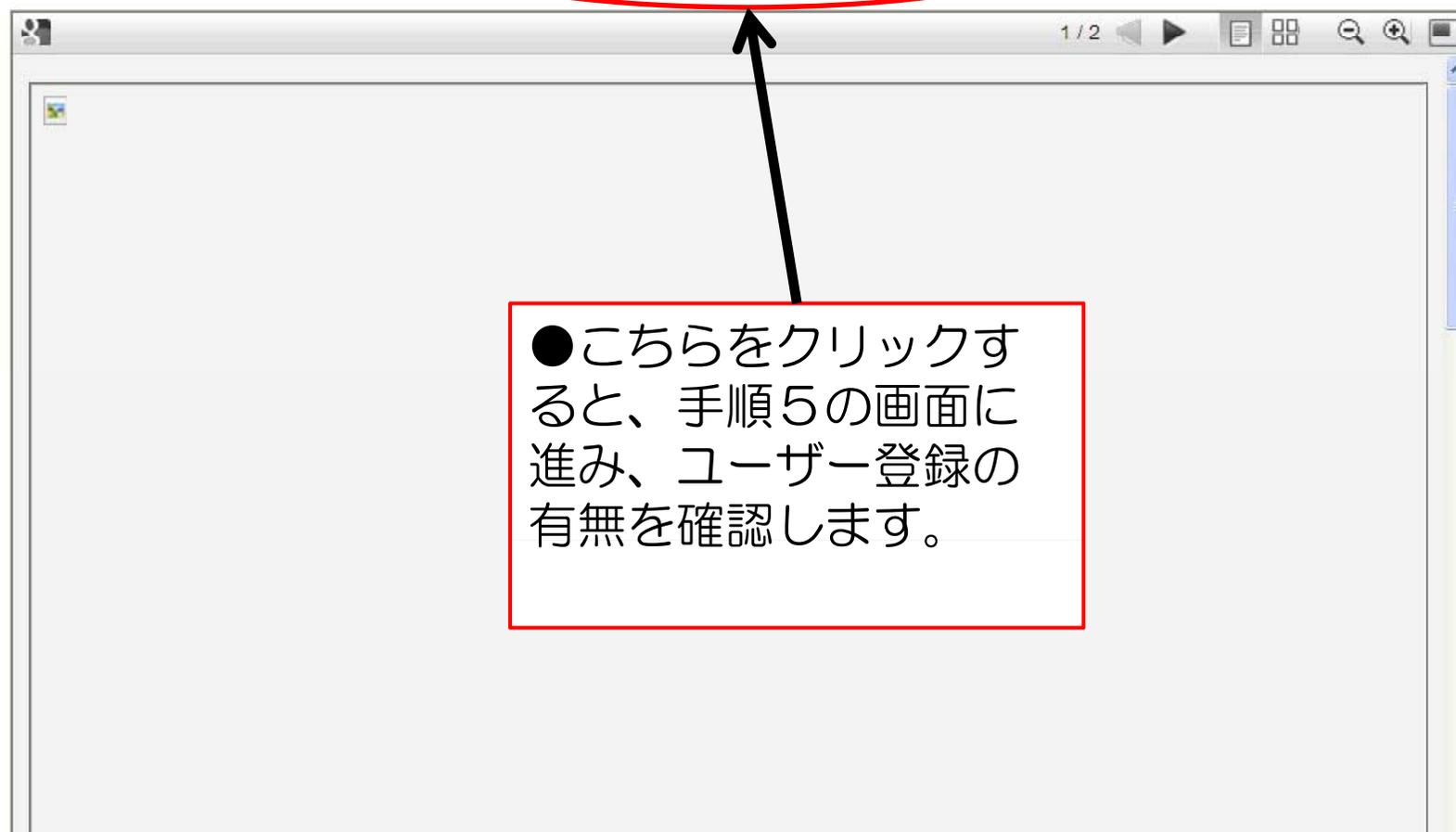
- 意見を提出していただく事業を選び、クリックして下さい。手順4の画面に進みます。
- 複数の事業に意見を提出する場合は、手順8まで進み、1つの事業へ意見提出を終えてから改めて次の事業を選んで下さい。
- 一度に複数の意見提出はできません。

個別要望の説明資料

安全で質の高い学校施設の整備

この要望について意見を提出する

各府省独自の説明資料を見る



●こちらをクリックすると、手順5の画面に進み、ユーザー登録の有無を確認します。



「元気な日本復活特別枠」要望に関する
パブリックコメント
PUBLIC COMMENT
～政策コンテスト～
予算編成にあなたの声を!
応募締切 2010年10月19日(火) 17:00まで(必着)

意見募集対象事業

「元気な日本復活特別枠」(特別枠)要望の合計189事業

分野別

- ・ [新成長戦略\(デフレ脱却・経済成長\)](#)(103)
- ・ [新成長戦略\(雇用拡大\)](#)(7)
- ・ [マニフェスト掲載施策](#)(15)
- ・ [国民生活の安定・安全](#)(55)
- ・ [人材育成・新しい公共](#)(9)

ログイン

| | |
|---------|-------------------------------------|
| メールアドレス | <input type="text"/> |
| パスワード | <input type="password"/> |
| | <input type="button" value="ログイン"/> |

パスワードをお忘れの方は[こちら](#)をクリックしてください。

まだパスワードをお持ちでない方は[こちら](#)からユーザー登録を行ってください。

※ユーザー登録がお済みでない方は、[こちら](#)をクリックして下さい。

●ユーザー登録がお済みの方は、ご自身で設定されたメールアドレスとパスワードをご入力の上、「ログイン」をクリックして下さい。手順6の画面に進みます。

ユーザー登録 の注意点

ユーザー登録

入力必須 がついている項目は入力必須になります。

基本情報

| | | | |
|-------------------|-------------|----------------------|-----------------------|
| 氏名 (又は法人名、団体名) | 入力必須 | <input type="text"/> | (入力例「山田 太郎」、「〇〇株式会社」) |
| 年代 | 入力必須 | 選択してください▼ | (法人等の場合は、「法人、団体等」を選択) |
| 職業/職種 | 入力必須 | 選択してください▼ | |

連絡先 法人、団体等の場合は、主たる事務所等について記載

| | | | |
|----------|-------------|----------------------|--------------------------|
| 都道府県、海外等 | 入力必須 | 選択してください▼ | (海外居住等の場合は「海外その他」を選択) |
| 電話番号 | 入力必須 | <input type="text"/> | (半角数字)(入力例 03-3511-9301) |
| FAX番号 | | <input type="text"/> | (半角数字)(入力例 03-3511-9301) |

ログイン用設定

| | | | |
|-----------|-------------|--------------------------|---|
| 電子メールアドレス | 入力必須 | <input type="text"/> | (半角英数字) (申し訳ありませんが、フリーメールアドレスはご利用いただけません。 携帯のメールアドレスはご利用いただけません。) |
| パスワード | 入力必須 | <input type="password"/> | (半角英数字混在、5文字以上) |

意見書の公表について

| | | | |
|---------------------|-------------|-----------|--|
| 氏名の公表 | 入力必須 | 選択してください▼ | |
| 年代の公表 | 入力必須 | 選択してください▼ | |
| 職業/職種の公表 | 入力必須 | 選択してください▼ | |
| 意見書本文(自由記述 欄)の公表 | 入力必須 | 選択してください▼ | |

画像認証

| | | | |
|------|-------------|---|-----------------------|
| 認証キー | 入力必須 |  | 上に表示された文字列を入力してください。: |
|------|-------------|---|-----------------------|

送信内容確認

【パスワードについて】
パスワードは、任意の5文字以上
の半角英数字となります。

例……

- abc123
- × 12345 (英字無し)
- × abcde (数字無し)
- × ab12 (5文字未満)

【認証キーについて】

認証キーの入力は、すべて半角英字
(小文字)で行います。スペース等
があるように見える場合でも、入力
する必要はありません。

例……

- phiuiaph
- × phi ui aph

【ユーザー登録が終わったら】

この画面で登録したメールアドレスに、メールが配信されます。そのメールに記載してあるURLをクリックすると、登録は完了します。**お手数ですが、意見の提出には、改めて手順1から操作をお願いいたします。**

入力必須 がついている項目は入力必須になります。

基本情報

| | |
|-------------------|----------------------------|
| 氏名 (又は法人名、団体名) | 高橋 宏暢 |
| 年代 | 20代 |
| 職業/職種 | 各種団体(NPO・公益法人等) |
| 連絡先 法人、団体等の場合は、 | 主たる事務所等について記載 |
| 都道府県 | 東京都 |
| 電話番号 | 03-4212-3526 |
| FAX番号 | |
| 電子メールアドレス | n-takahashi@janu.jp |
| 意見書の公表について | |
| 氏名の公表 | 公表不可 |
| 年代の公表 | 公表可 |
| 職業/職種の公表 | 公表可 |
| 意見書本文(自由記述欄)の公表 | 公表可 |
| 要望項目に対する意見 | |
| 事業番号 | 1905 |
| 事業名 | 「強い人材」育成のための大学の機能強化イニシアティブ |

評価 各設問について、以下の選択肢からお選び下さい。

- ア : そう思う
- イ : どちらかというと思う
- ウ : どちらともいえない
- エ : どちらかというと思わない
- オ : そう思わない

●青い部分は、ユーザー登録の内容等によって変化します。

手順7

| 【必要性】 | |
|---|------|
| (1) 記載された政策目的を実現するために、この事業を実施する必要があると思いますか。 | 入力必須 |
| ア: そう思う | |
| (2) 記載された政策目的に照らして、地方公共団体や民間等に委ねることは難しく、国が率先して行う必要があると思いますか。 | 入力必須 |
| ア: そう思う | |
| (3) 限られた予算枠の中で、この事業は、同一分野(関連項目)の他の事業と比べて、優先して実施する必要があると思いますか。 | 入力必須 |
| ア: そう思う | |
| 【事業効果】 | |
| (4) この事業を実施することを通じて「元気な日本」の復活につながると思いますか。 | 入力必須 |
| ア: そう思う | |
| (5) この事業に関する「要望概要」の「事業の新規性、見直し内容」の欄に記載されている内容に、新規であるものだと思いますか。 | 入力必須 |
| ア: そう思う | |
| 【手法】 | |
| (6) この事業の手法(事業主体、支出先等)は適切であると思いますか。 | 入力必須 |
| ア: そう思う | |
| (7) 要望欄の事業規模は事業内容等からみて適切な(過大ではない)ものだと思いますか。 | 入力必須 |
| ア: そう思う | |
| その他 この事業に対する評価 | |
| 良い点 | |
| 【記載例】 経済危機と不況の時にこそ、新たな知やイノベーションの送出手を担う大学への投資が必要不可欠であり、もっと充実すべきである。 | |
| 悪い点 | |
| 【記載例】 大学の運営基盤をしっかりとしないと優れた教育研究活動は担保できない。大学運営の足腰を支える運営費交付金などの経費をきちんと措置すべきである。 | |
| その他 ご意見 (事業内容の改善、事業の執行方法や効率化への提案など、幅広くご記入下さい。) | |
| 【記載例】 | |
| 送信内容確認 | |

● すべての項目について、もれなく記載をして下さい。

● ご意見・ご要望をお書き下さい。

● すべて記入が終わりましたら、ここをクリックして下さい。

手順8

| 【必要性】 |
|--|
| (1) 記載された政策目的を実現するために、この事業を実施する必要があると思いますか。 |
| ア: そう思う |
| (2) 記載された政策目的に照らして、地方公共団体や民間等に委ねることは難しく、国が率先して行う必要があると思いますか。 |
| ア: そう思う |
| (3) 限られた予算枠の中で、この事業は、同一分野(関連項目)の他の事業と比べて、優先して実施する必要があると思いますか。 |
| ア: そう思う |
| 【事業効果】 |
| (4) この事業を実施することを通じて「元気な日本」の復活につながると思いますか。 |
| ア: そう思う |
| (5) この事業に関する「要望概要」の「事業の新規性、見直し内容」の欄に記載されている内容は、評価できるものだと思いますか。 |
| ア: そう思う |
| 【手法】 |
| (6) この事業の手法(事業主体、支出先等)は適切であると思いますか。 |
| ア: そう思う |
| (7) 要望額や事業規模は事業内容等からみて適切な(過大ではない)ものだと思いますか。 |
| ア: そう思う |
| その他 この事業に対する評価 |
| 良い点 経済危機と不況の時にこそ、新たな知やイノベーションの送出を担う大学への投資が必要不可欠であり、もっと充実すべきである。 |
| 悪い点 |
| その他 ご意見 (事業内容の改善、事業の執行方法や効率化への提案など、幅広くご記入下さい。) |
| 大学の運営基盤をしっかりとしないと優れた教育研究活動は担保できない。大学運営の足腰を支える運営費交付金などの経費をきちんと措置すべきである。 |

内容を修正する **この内容で送信する**

●ご入力内容をご確認の上、こちらをクリックして下さい。クリックすると意見提出は完了となります。

●また別の事業に意見提出したい場合は、手順1に戻り、操作を続けて下さい。

パブコメ意見例

(注) 下記意見例は、「元気な日本復活特別枠」要望に関するパブリックコメントにおいて、国立大学に関係する事業について、「3. その他この事業に対する評価（よい点）」及び「4. その他ご意見」欄に意見を記載する際に適宜ご参照の上、実際の意見の提出に当たっては、各自のお考えに従って記載して頂くようお願い致します。

(事業番号：1901)

(事業名) 安全で質の高い学校施設の整備

- 施設の耐震化は、多くの人が集まる大学で安心安全に教育研究活動を進める上で不可欠であり、いわゆる「ハコモノ」への投資ではなく、日本の未来を築く教育研究への投資という観点でとらえて推進すべきである。
- 老朽化し、耐震強度にも問題のある建物の中では安心して教育や研究活動に取り組めない。将来のわが国を支える人材の育成やわが国の発展につながる研究活動は安全な環境の下ではじめて生み出されるもので、積極的な財政投資が必要である。
- わが国が国際競争で生き残るためには、優秀な人材を育てることが不可欠である。学生が安心して教育や研究に専念できる環境を確保する上で耐震化は重要である。

(事業番号：1904)

(事業名) 学習者の視点に立った総合的な学び支援及び「新しい公共」の担い手育成プログラム

- 先進諸国の中で日本は教育費の家計負担が最も高く、公財政支出が最も少ない国である。もっと国の支援を拡大し、G8の一員として誇れる措置を取るべきである。
- 半数以上の若者が大学に進学する中で、子ども手当や高校授業料無償化と同様に、奨学金や授業料免除などの経済的な支援を必要な者にしっかりと措置できるように国は責任を果たすべきである。

- 優秀で意欲のある若者が、家計の状況で進学できず、将来の道を断たれるのは国にとっても大きな損失。こうした若者の希望を叶えていくことが日本の将来の発展に必要不可欠である。
- 資源の少ない日本にとって、将来の発展を担う源となるのは人であり、人材の育成に大学等の高等教育は必須である。国は人材の育成にきちんと予算を措置すべきである。
- 能力と意欲のある若者が経済的な不安なくして大学に通うことができることが、今の社会に求められているものであり、奨学金や授業料免除などの措置をしっかりと行っていくことが必要である。
- 諸外国では高等教育進学者を増やし、それを国の発展につなげるという政策をとっているが、諸外国と比較してもわが国の高等教育進学率は決して高くないことから、それを高める上でも経済的支援への投資が必要である。

(事業番号：1905)

(事業名) 「強い人材」育成のための大学の機能強化イニシアティブ

- 我が国の成長において、将来を担う人材の育成や新たな最先端研究を支える研究活動など、大学に求められる役割は大きい。そのためにも、今回提案された要望内容を含め、国立大学法人運営費交付金の充実が必要。
- 国立大学の運営費交付金は、これまでも削減されてきており、これ以上の削減は、我が国の教育、学術研究へ多大な支障をきたす。特に単科大学や地方国立大学の教育研究への支障がでることが懸念される。
- 大学の運営基盤をしっかりとしないと優れた教育研究活動は担保できない。については、大学の運営の足腰を支える国立大学運営費交付金などの経費をきちんと措置すべき。

- 諸外国では高等教育進学者を増やし、それを国の発展につなげるという政策をとっているが、諸外国と比較してもわが国の高等教育進学率は決して高くないことから、それを高める上でも経済的支援への投資が必要である。
- 日本の最大の強みは科学・技術であり、今も世界をリードしているが、これを生み出す原動力は大学が担っていることから、新しい知の創成とイノベーション創出に資する大学の機能強化のための予算を充実すべきである。

(事業番号：1906)

(事業名) 成長を牽引する若手研究人材の総合育成・支援イニシアティブ

- わが国の最大の強みは科学・技術であり、それを根底から支える研究者の研究活動のための経費、特に若手研究人材への投資はこれを惜しむべきでない。
- 規模・内容を問わず、多くの研究は個々の研究者の地道な努力によって積み上げられたもの。こうした研究者の努力を支える科学研究費補助金の存在は大きく、これをより充実させることがわが国の成長に不可欠。
- 将来の日本を支える若者に活力がなければ、わが国の明るい将来の道筋は描けない。世界に誇れる「元気な日本」の復活には、若者の活力を伸ばす重点投資が必要。
- 若手研究人材への十分な支援こそ、若手人材に秘められた独創的で革新的なアイデアを引き出す上で不可欠。国は若手人材の声を反映し、その投資を拡大すべきである。
- 大学の基盤的経費と共に、科研費は大学の基礎研究にとって不可欠。科研費の拡充により、「我が国の成長の原動力」である「強い人材」を育成し、科学・技術を強化することにより、我が国の持続的な成長を図っていく必要がある。
- 若手の段階から多様な学術研究を科研費で支援していくことが長期的には我が国の成長につながる。必ず実現する必要がある。